2012年3月期
下期戦略説明会

2011年10月28日
株式会社エンプラス

代表取締役社長
横田　大輔

本日の説明内容

1. 2012年3月期　経営基本方針
2. 当第2四半期損益実績
3. 当社を取巻く環境認識
4. 上期実施施策
5. 中間決算総括
6. 下期戦略と重点推進事項
7. 下期セグメント別の動向と戦略
8. ご参考資料

2012年3月期　経営基本方針

1．圧倒的な競争力による事業成長

2．3N（技術・市場・用途）戦略による
　　新事業創出

当第2四半期損益実績

（単位：億円）

	第2四半期実績	第1四半期実績	増減	第2四半期累計実績
売上高	49.5	46.0	7.7%	95.5
原価率	66.3%	64.5%	1.8pt	65.5%
営業利益	1.5	0.4	268.8%	1.9
経常利益	1.4	0.4	199.9%	1.9
当期純利益	1.8	△4.1	―	△2.2
包括利益	△3.2	△6.2	―	△9.5
1株当り当期純利益	12.57円	△26.89円	―	△14.75円

当第2四半期セグメント別 実績

enplas

（単位：億円）

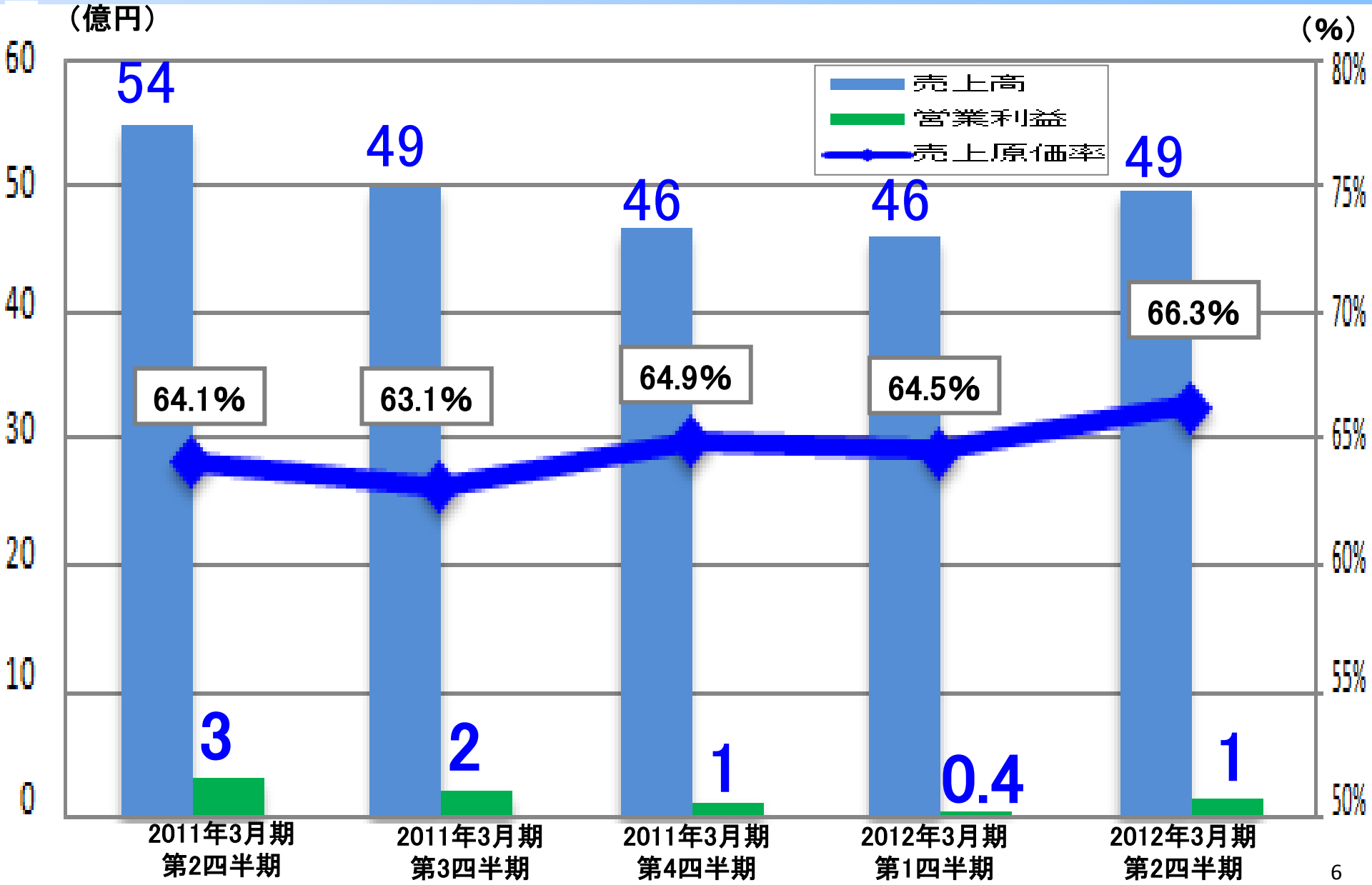
	第2四半期 実績	第1四半期 実績	増減	第2四半期 累計実績
エンプラ事業	29.5	27.0	9.1%	56.6
原価率	70.4%	69.4%	1.0pt	69.9%
営業利益	0.9	0.0	3,483.9%	0.9
半導体機器事業	12.5	12.0	3.7%	24.6
原価率	62.9%	58.7%	4.2pt	60.8%
営業利益	0.7	1.0	△25.4%	1.8
オプト事業	7.4	6.8	9.1%	14.2
原価率	56.1%	55.8%	0.3pt	56.0%
営業利益	△0.1	△0.6	—	△0.8
売上合計	49.5	46.0	7.7%	95.5

四半期実績推移

（単位：億円）

	2012年3月期 第2四半期	2012年3月期 第1四半期	2011年3月期 第4四半期	2011年3月期 第3四半期	2011年3月期 第2四半期
売　上　高	49.5	46.0	46.5	49.9	54.7
売上原価率	66.3%	64.5%	64.9%	63.1%	64.1%
営業利益	1.5	0.4	1.3	2.1	3.2
経常利益	1.4	0.4	1.2	2.0	2.5
当期純利益	1.8	△4.1	0	0.1	△1.0
1株当り当期純利益	12.57円	△26.89円	△0.13円	1.23円	△7.11円

参考 -四半期売上高/営業利益/売上原価率実績推移-



当社を取巻く環境認識

➢業界環境

◆エンプラ
- 米国の自動車市場が回復
- アジア拠点は好調を継続
- 欧米市場の低迷が長期化

◆半導体
- 弊社が主力とする自動車向け半導体市場は好調
- 円高影響により、原価上昇

◆オプト
- 光ピックアップ事業は震災影響なし
- 液晶TV業界全体の在庫調整

2012年3月期上期実施施策

➢経営・事業

□震災による生産落込みを好機と捉え、効率化・成長投資を前倒し
□円高への対応で、金型生産体制のグローバル再編を加速

効率化

◆国内生産体制再構築
　株式会社エンプラス精機の解散
　→鹿沼工場へ集約
◆上海での金型生産インフラ投資前倒し

成長戦略

◆エンプラ、LE-Capの事業開発推進
◆成長市場インドネシアでの現地法人設立

資本政策

◆株主価値向上を目的とした自己株式の市場買付
　8/1～10/28迄の取得株式数：1,230,100株
　発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合：8.7%
◆銀行借入の実施　長期：10億円　　短期：15億円（9月末日実施）

2012年3月期中間決算総括

➢主な特別損失

投資有価証券評価損	１６１百万円
事業再構築費用	１２０百万円
借地権除却損	３１百万円

➢主な特別利益

委託加工先との契約解除に伴って発生した在庫、設備の返還請求等の偶発債権の回収等による特別利益１０１百万

2012年3月期下期戦略

2012年3月期下期戦略

enplas

1. 圧倒的な競争力による事業成長

◆LE-Capによる市場席捲

2. 3N（技術・市場・用途）戦略による新事業創出

◆LED、バイオ分野への積極的な事業開発

下期の戦略と重点推進事項

1. 圧倒的な競争力による事業成長

TV用LE-Capによる市場席捲

アジア地域の成長取り込み

金型のスピード競争力向上

売上拡大

生産増強

原価低減

スピードアップ

インドネシア工場立上げ

上海新工場立上げ

上海金型工場立上げ

下期の戦略と重点推進事項

2. 3N（技術・市場・用途）戦略による新事業創出

エンプラスのコア技術		重点推進事項
量産技術	微細加工技術	製品開発
成形技術	金型加工技術	新市場・新用途の開拓
評価技術	光学設計技術	新規顧客の獲得

既存事業で培った技術と最先端技術の融合

LED・バイオに焦点を当てた新市場への積極アプローチ

新事業創出

グループ全体での成長を実現

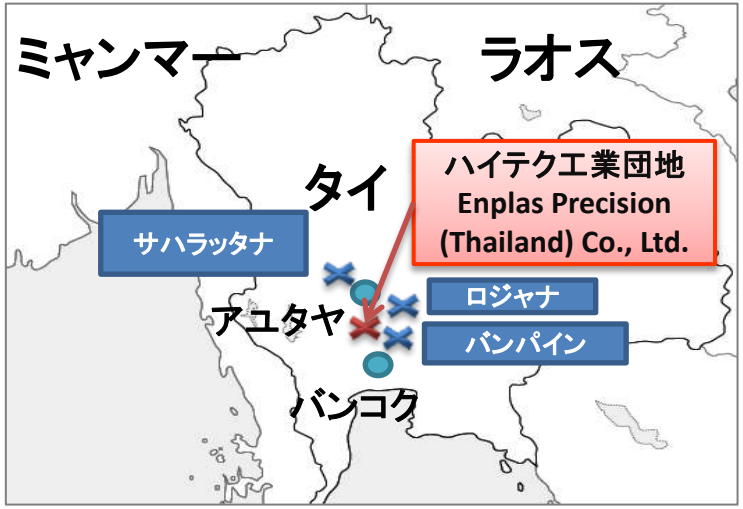
その他の重点推進事項①

タイ子会社洪水被害の緊急対策

エンプラス・プレシジョン・タイランド
（アユタヤ県ハイテク工業団地内）

主要生産品目：エンプラ事業関連製品

◆10月15日工場に浸水し、操業停止中
◆工場内に1.6m浸水被害発生
◆現地および日本の対策本部が連携し、迅速に対応中



当社対応策

グローバル拠点
代替生産の緊急対応

・鹿沼工場（日本）
・ベトナム工場
・マレーシア工場
・広州工場
・上海工場

今後の対応

■水害発生リスクが低い場所に新たな工場を確保
■スピード立上げ
１２月稼働目標

その他の重点推進事項②

自己株式の市場買付の継続

平成23年10月28日開催の取締役会において
自己株式取得に係る事項を決議

- 取得しうる株式の総数：1,000,000株（上限）
  （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合7.10%）
- 株式の取得価額の総額：1,800百万円（上限）
- 取得期間：平成23年10月31日～平成24年1月28日

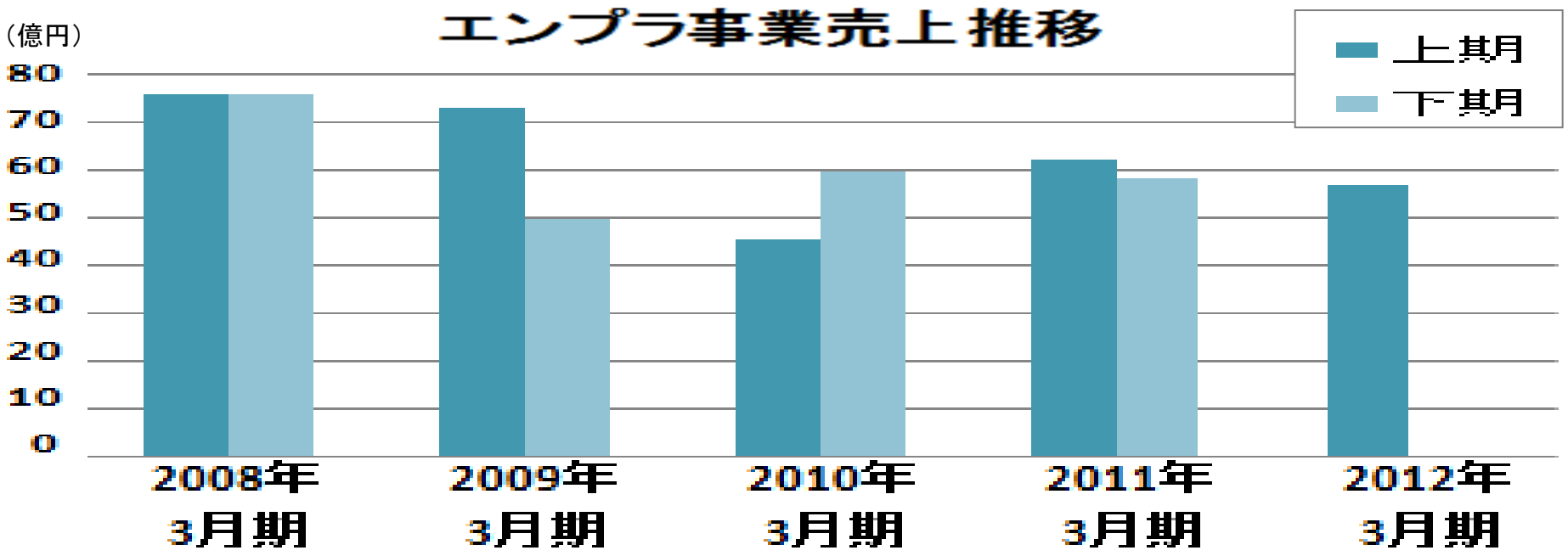
ご参考
平成23年10月28日時点の自己株式の保有

発行済株式総数（自己株式を除く）	14,091,534株
自己株式数	6,141,363株

各事業の動向と戦略

※通期の業績予想は修正しておりません。

エンプラ事業の動向



2012年3月期

上期売上実績　56億円

（通期売上計画　120億円）

エンプラ事業戦略

◆市場動向

OA ：欧米の景気減速の影響を受けるが、中国・東南アジアを中心としたLBP市場拡大トレンド継続

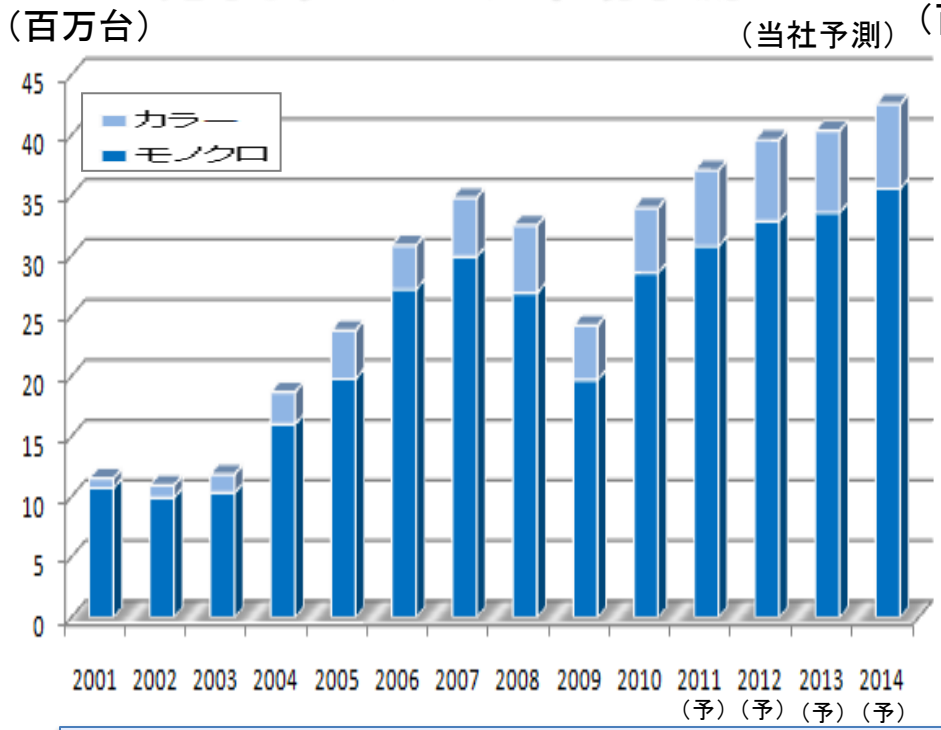
自動車：震災・節電の影響が一巡し、業界全体で下期の生産水準上昇

二輪：アジアでの成長が著しく、下期も好調

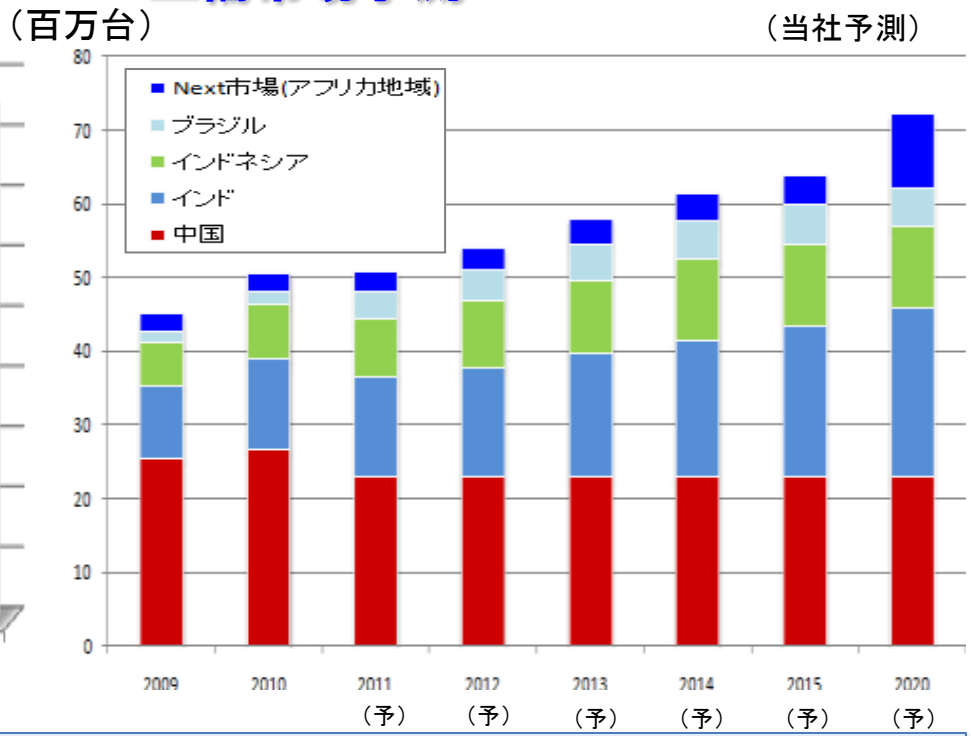
セグメント	下期戦略
OA 自動車・二輪	・インドネシア・上海工場立上げによる成長地域での生産体制基盤構築 ・成長市場アジアにおける新規顧客受注 ・戦略製品のシェア拡大
金型	上海金型工場の本格始動による コスト競争力の向上とスピード競争力向上

エンプラ事業の動向

光学式プリンタ市場予測

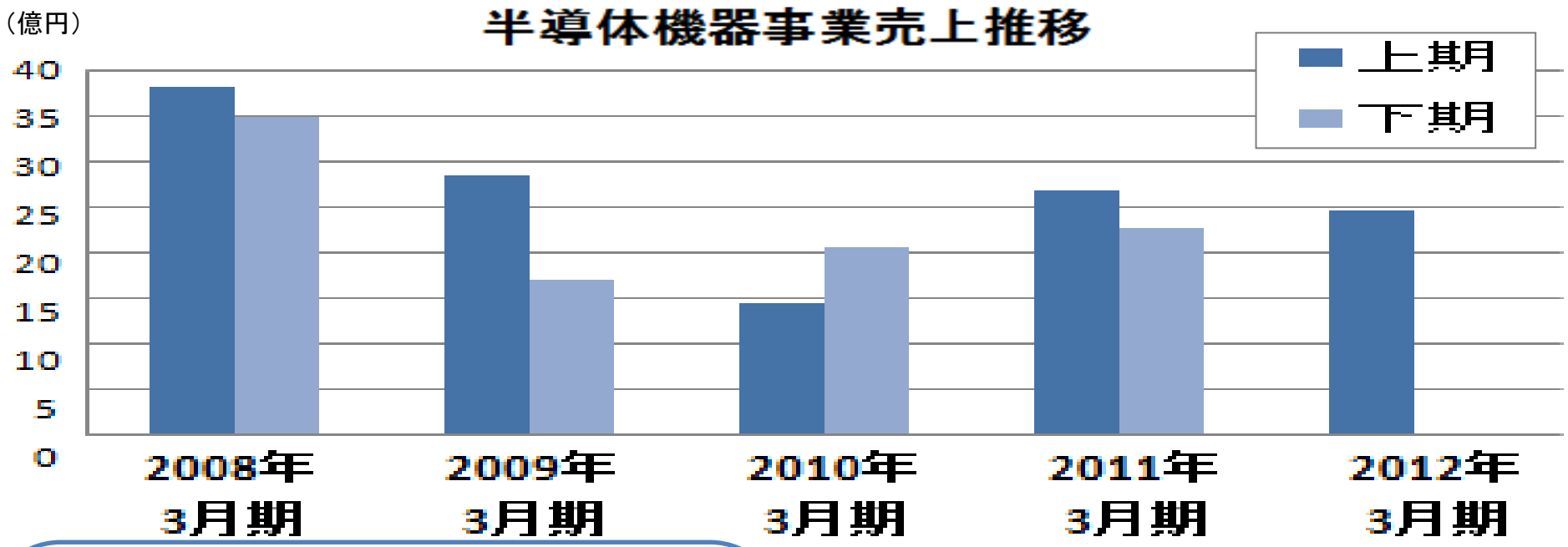


二輪市場予測



- ◆ 新興国を中心に成長が顕著なLBPや二輪の戦略部品でのシェアを向上する。
- ◆ 金型のコスト･スピード競争力＋生産技術力の優位性を発揮し、成長著しいアジアでのシェアを向上させる。

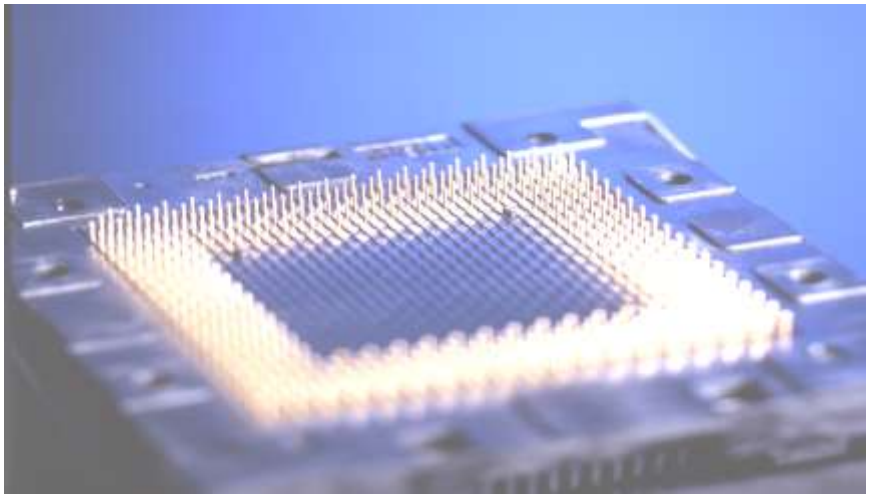
半導体機器事業の動向



2012年3月期

上期売上実績　24億円

（通期売上計画　50億円）



半導体機器事業戦略

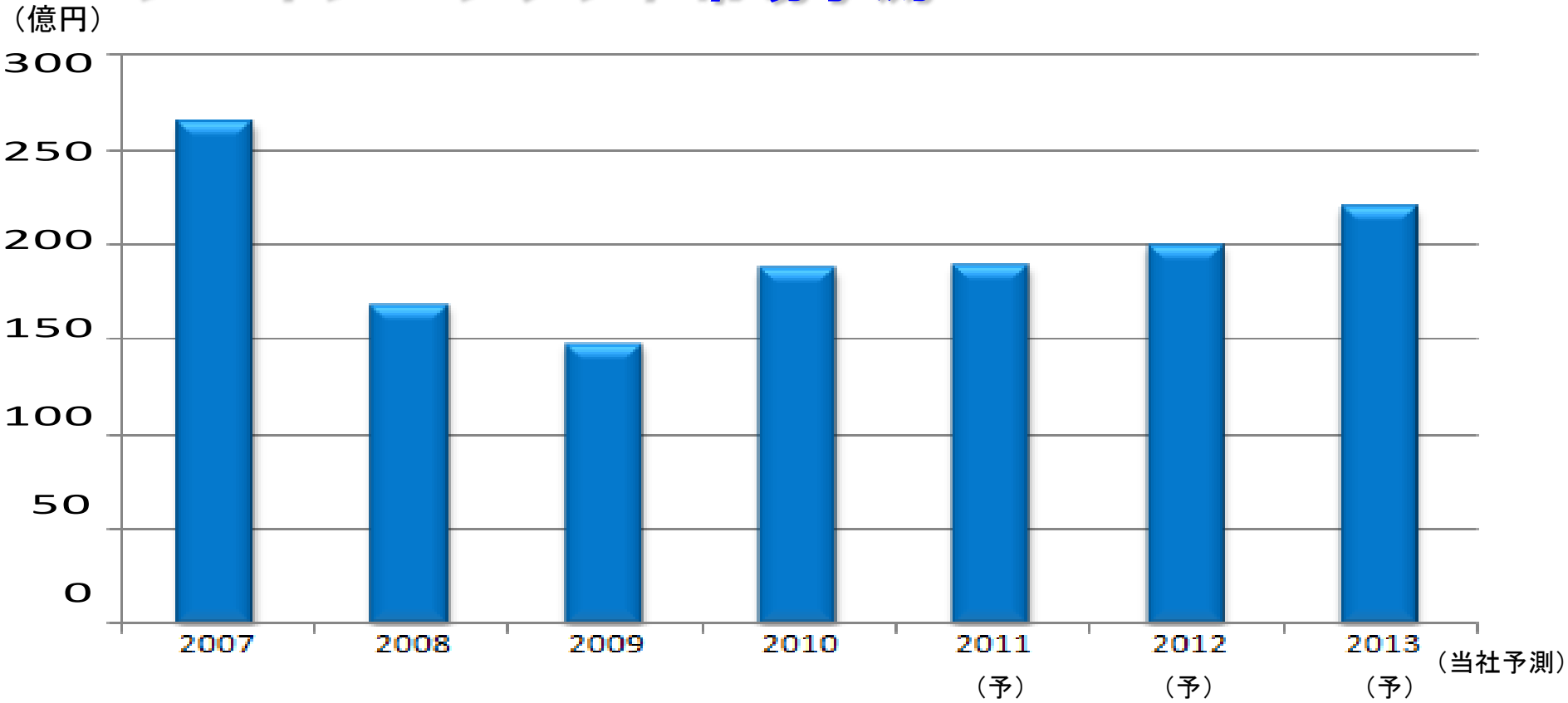
◆市場動向
半導体市場全体は落ち込んでいるが、弊社が主力とする
自動車向け半導体市場は対前年比で成長を継続

下期戦略
独自のめっき技術に基づいた製品競争力強化による 車載用ソケットのシェア拡大
海外調達・海外生産の加速によるコスト競争力構築
グローバルの顧客サービス体制構築

◆製品、サービスでの競争力向上により、業界トップシェア目指す

半導体機器事業の動向

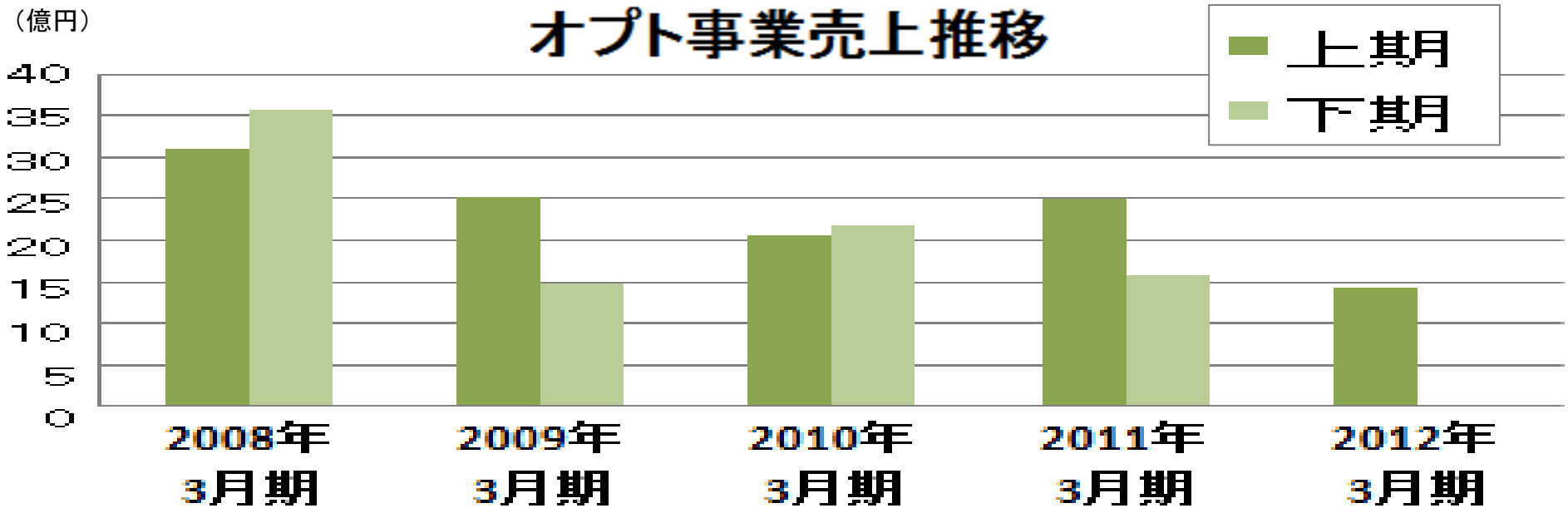
バーン・イン・ソケット市場予測



◆自動車市場の成長に牽引され、バーン・イン・ソケット市場も成長を継続見込み

◆製品競争力の向上、グローバルサービス体制の確立により、来期、自動車用半導体で世界トップシェアを目指す

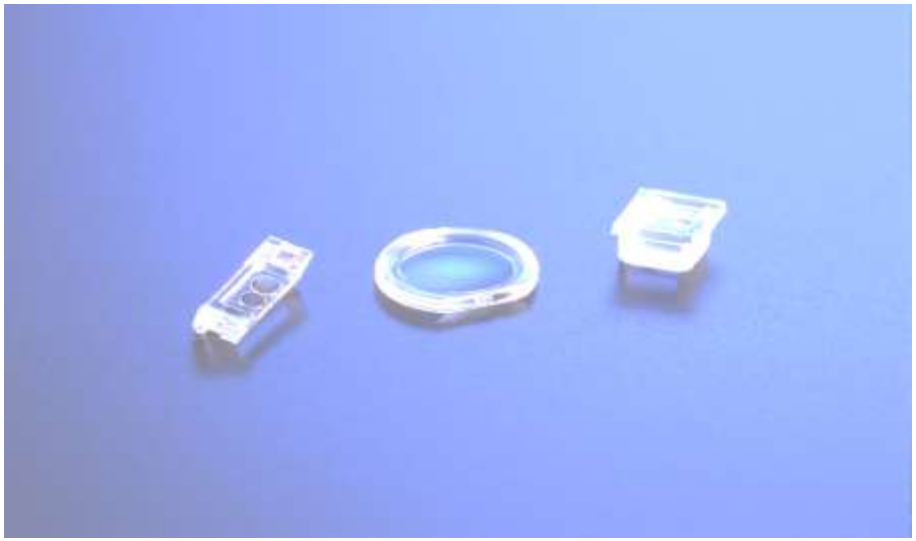
オプト事業の動向



2012年3月期

上期売上実績　14億円

（通期売上計画　40億円）



オプト事業戦略

最重点テーマ：LE-Capによる市場席捲

➢市場環境

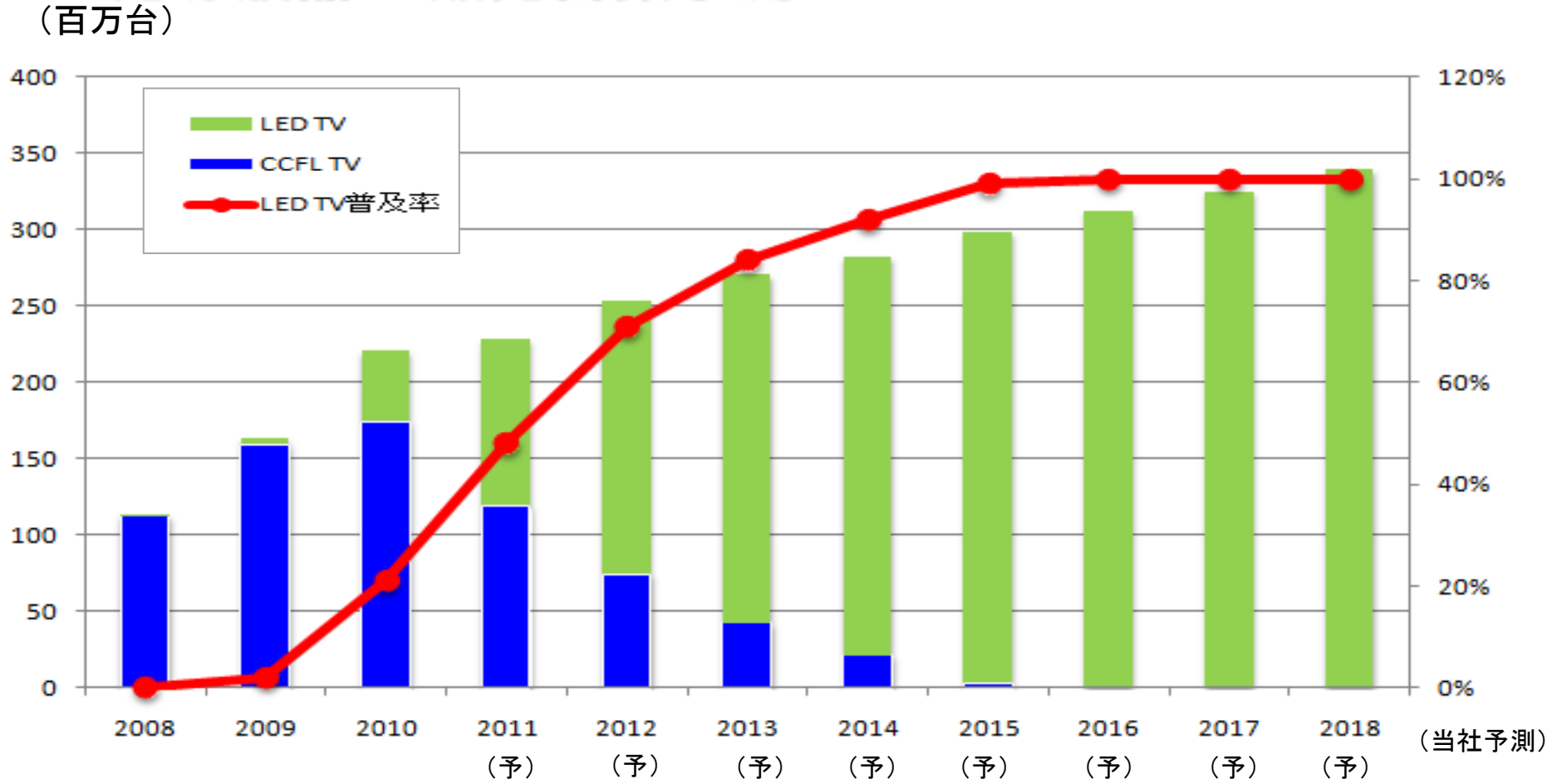
- 液晶TVメーカーが低収益に直面し、低コストのTV開発に力を入れている
- 想定以上にCCFLテレビのLED化が進行

原理的にコストメリットが高いLE-Cap方式に対する強力なニーズがある

◆LEDバックライトの主力方式を目指す
◆市場ニーズに合わせたスピード立上げ
◆次世代方式の開発推進

オプト事業の動向

LED光源液晶TV販売台数予測



◆今下期に主力方式としての地位確立のためのベースを確立する。
◆来期、LEDテレビの約３０％でLE-Capが採用されることを目標とする。

オプト事業（LE-Cap以外）戦略

セグメント	下期戦略
光ピックアップ	ノートPC向け記録系 新規顧客獲得
光通信	価格競争激化による新規顧客開拓 および新製品の市場投入
LED看板・照明	タイムリーな新製品 開発による事業立上げ

ご清聴ありがとうございました。

株式会社エンプラス

ご参考資料

2012年3月期計画

（単位：億円）

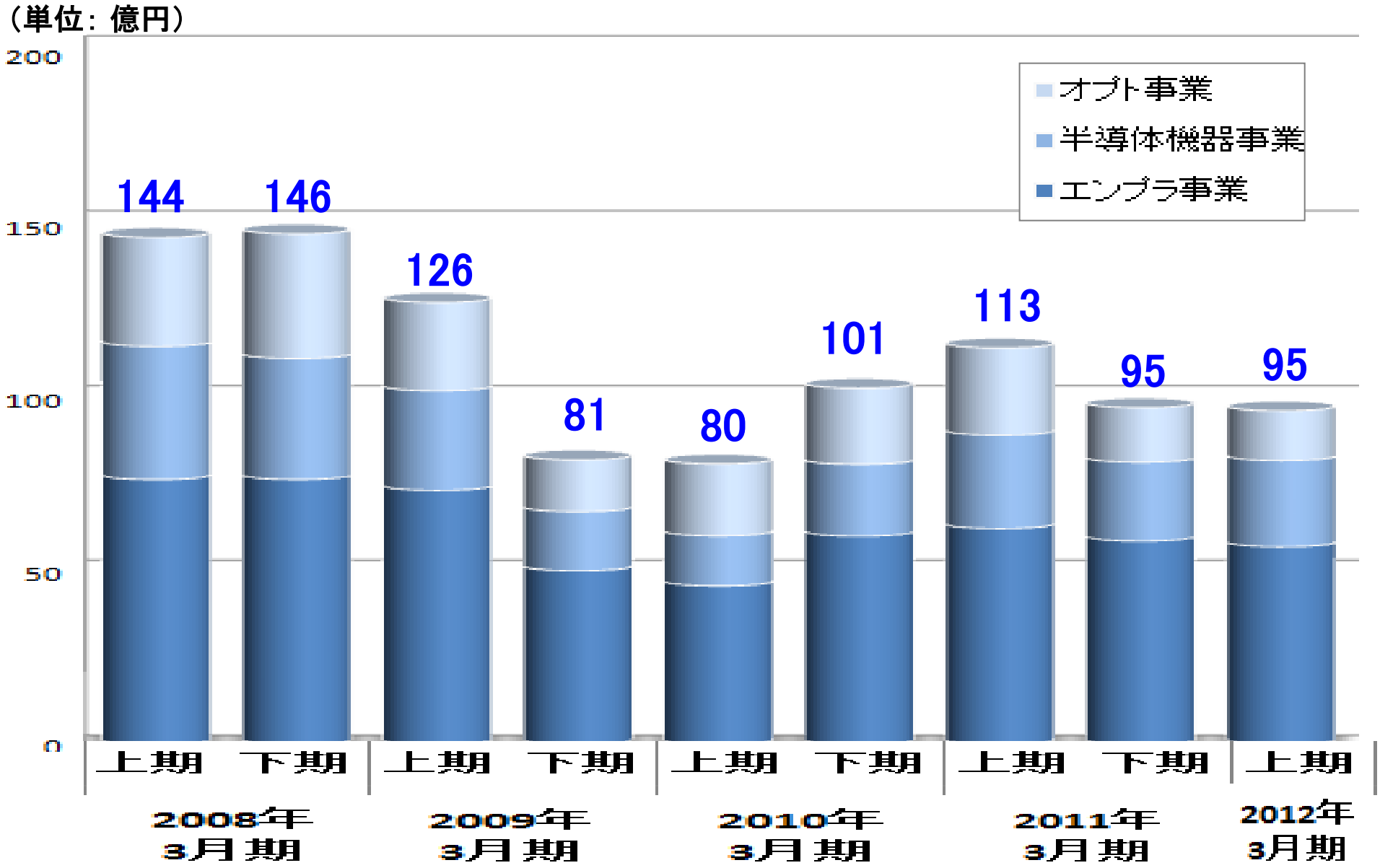
	2012年3月期 上期実績	2012年3月期 上期計画	2012年3月期 通期計画
売上高	95.5	100.0	210.0
原価率	65.5%	64.0%	62.6%
営業利益	1.9	3.0	12.5
経常利益	1.9	3.0	12.5
当期純利益	△2.2	△4.5	4.0
1株当り当期純利益	△14.75円	△29.37円	26.42円
1株当り配当	7.50円	7.50円	15.00円

セグメント別 売上計画

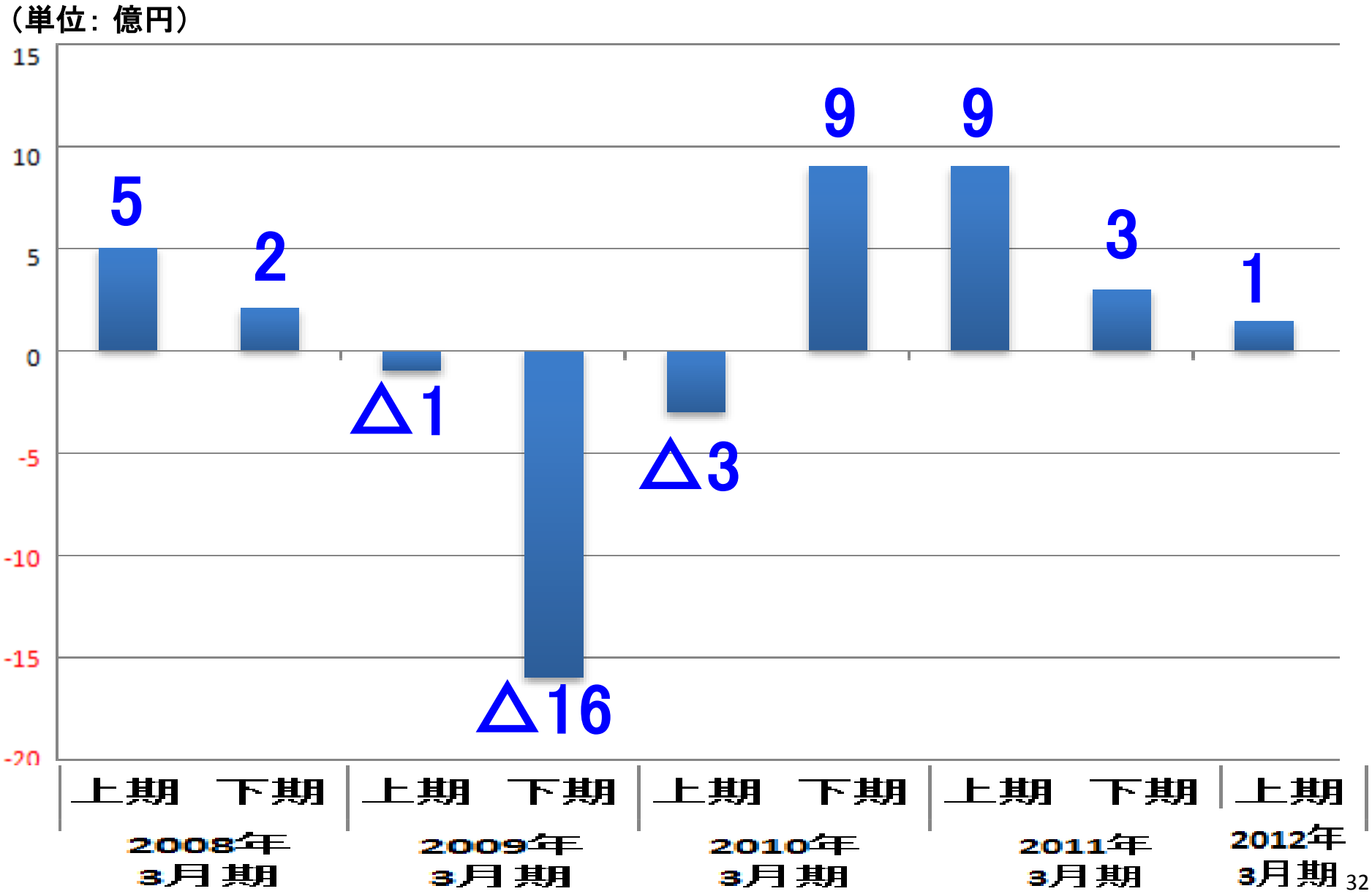
（単位：億円）

	2012年3月期 上期実績	2012年3月期 上期計画	2012年3月期 通期計画
エンプラ事業	56.6	60.0	120.0
半導体機器事業	24.6	25.0	50.0
オプト事業	14.2	15.0	40.0
売上合計	95.5	100.0	210.0

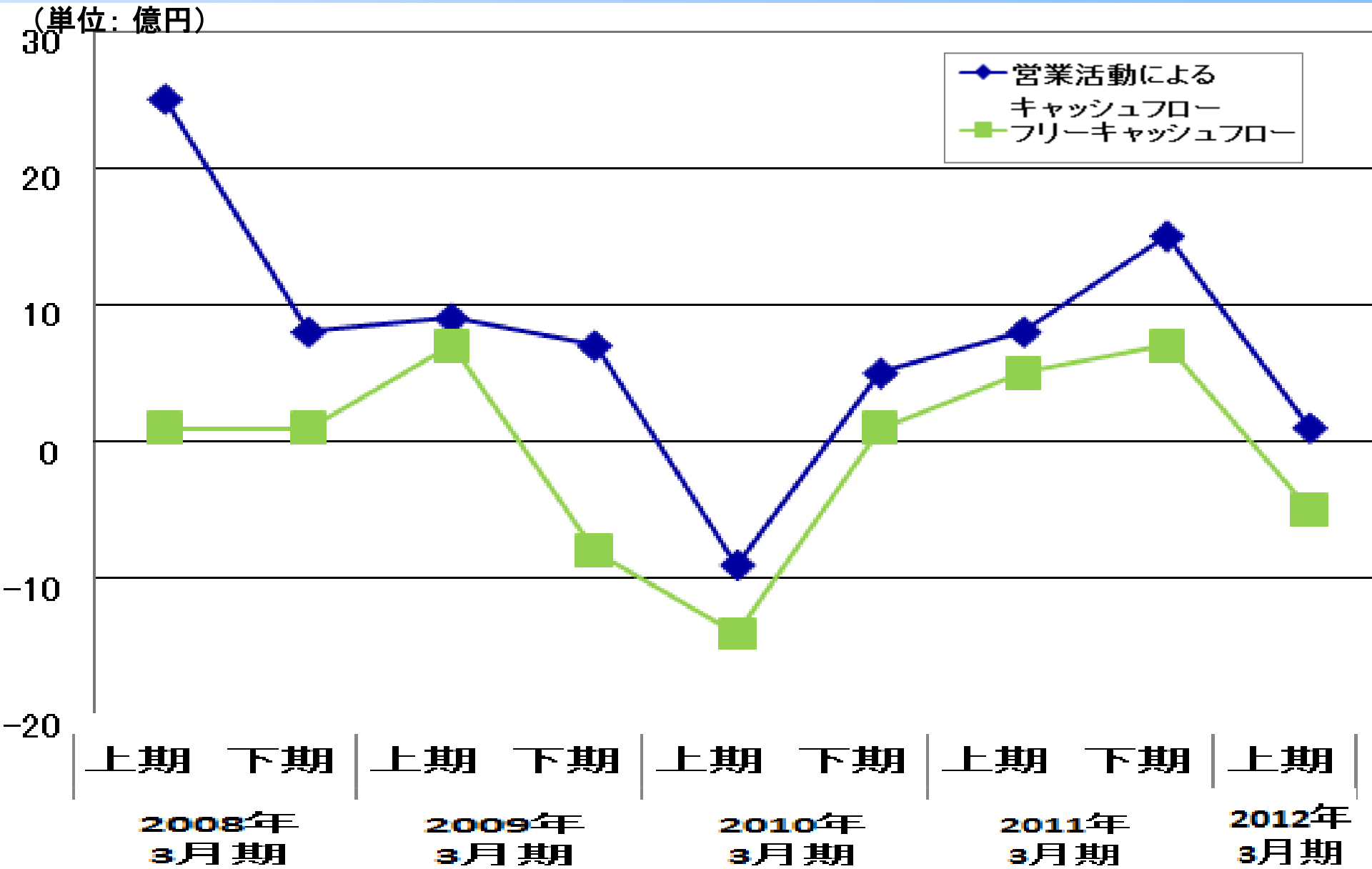
参考 -売上高実績推移-


（単位：億円）
200
150
100
50
0
オプト事業
半導体機器事業
エンプラ事業
144
146
126
81
80
101
113
95
95
上期
下期
上期
下期
上期
下期
上期
下期
上期
2008年
3月期
2009年
3月期
2010年
3月期
2011年
3月期
2012年
3月期

参考 -経常利益実績推移-

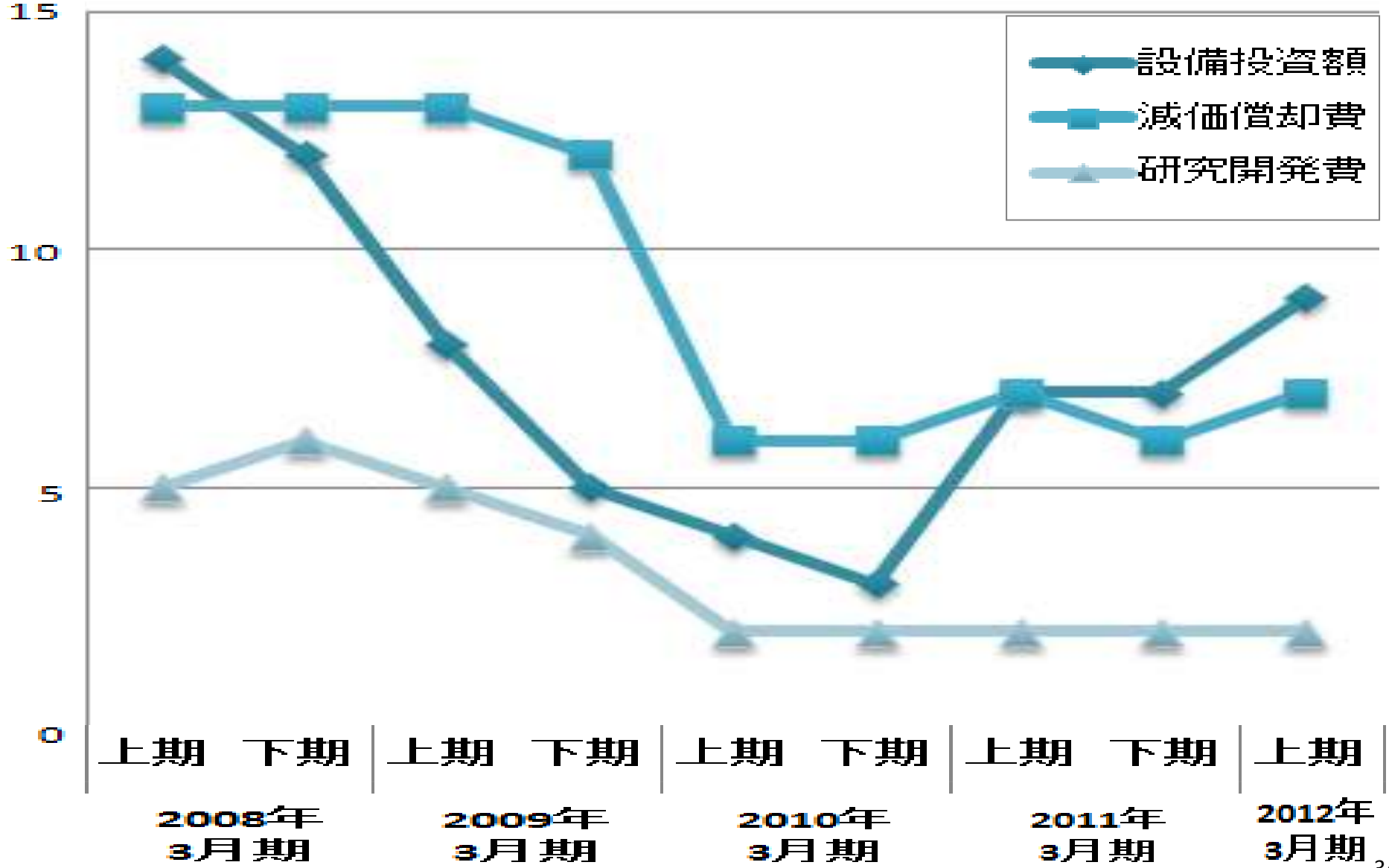
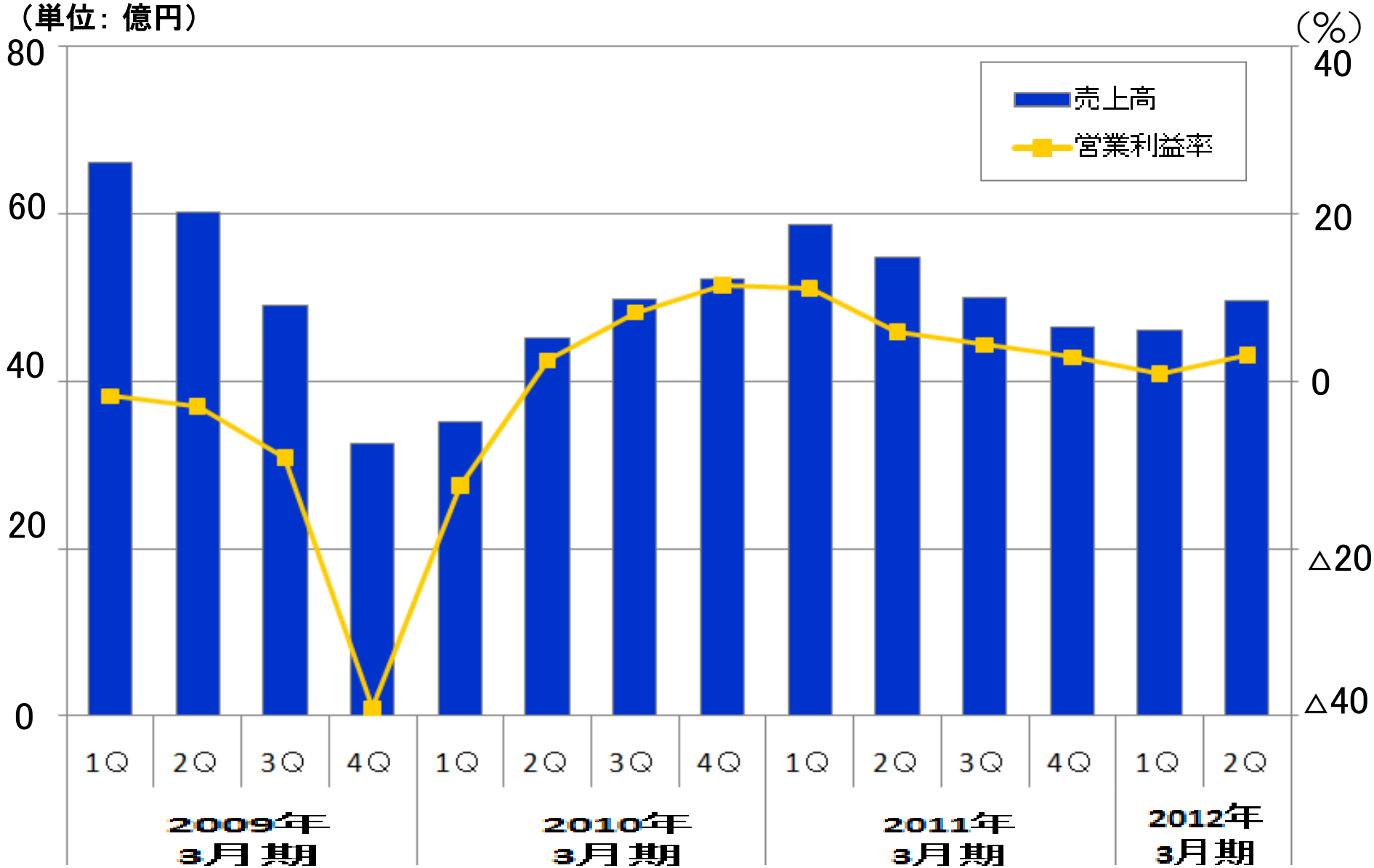

（単位：億円）
15
10
5
0
-5
-10
-15
-20
5
2
△1
△16
△3
9
9
3
1
上期
下期
上期
下期
上期
下期
上期
下期
上期
2008年
3月期
2009年
3月期
2010年
3月期
2011年
3月期
2012年
3月期

参考 -キャッシュフロー推移-



参考 -設備投資額・減価償却費・研究開発費推移-

（単位：億円）



参考 -売上高/売上高営業利益率四半期実績推移-